

キャラクター名
風谷 葉月

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	探偵	カヴァー	何でも屋
	ノイマン					
オプション			年齢	34	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	殺戮	初期侵食率	37	%
出自	兄弟	経験	脱走	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	0	0	1			1	行動値	9
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	9
精神	6	1	0			7	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達	8	
運転:四輪車	2		芸術:			知識:銃器	1		情報:噂話	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:恋愛	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
PDW	射撃	12r+9		9		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コ: UGN幹部	
コ: 噂好きの友人	
思い出の一品	
医療トランク	
エボルフラクション	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
守護者	P	N		
想い人-イオン-	P	N		
イオナル・クルル・アリエル	P 執着	N 憐憫		
	P 同情	N 憐憫		
	P 感服	N 嫌気		
	P 感服	N 食傷		
	P 憐憫	N 憎悪		

最大財産P: 20 残り財産P: 26

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:ノイマン	2	2		-	-	-	2	
効果: C値-Lv								
インスピレーション	5	2	Xジャー	-	-	-	2	
効果: GMに質問が可能								
コントロール:射撃	1	2	Xジャー	武器	-	-	2	
効果: 精神で判定が可能								
スキル追加:射撃	5	2	Xジャー	-	-	-	2	
効果: 達成値+Lv*2(10/12)								
コンバットシステム	4	3	Xジャー	-	-	-	3	
効果: 判定ダイス+Lv+1(5/6)								
天性のひらめき	3	4	Xジャー	-	-	-	4	
効果: 戦闘以外のあらゆるC値-Lv								
常勝の天才	7	6	セット	視界	シーン			
効果: シーン一回、対象の攻+Lv*4								
ブラックマーケット	5							
効果: 常備化ポイント+50、浸蝕基本値+2								
戦術	7	6	セット	視界	シーン			
効果: ラウンド中ダイス+Lv								
ブリックリーク	1	4d10	イニシ	視界	単体		120↑	
効果: 即座にメインプロセスを行わせる								
刹那の勝機	1	4d10	オート				120↑	
効果: ダメージを0に、重圧中も可								
ラストアクション	1	5	オート				100↑	
効果: 戦闘不能時、即座にメインを行う								
勝利の女神	6	6					100↑	
効果: 達成値に+Lv*3								

街外れの雑居ビルの一室にて探偵事務所兼何でも屋を営む男、本人は小説の中の探偵に憧れ目指しているが、どうにも上手く行かない日々であり、糊口をしのぐために何でも屋を開き、諸々の仕事を請け負っている。

かつてはUGNに所属していたが、弟がジャームの被害にあった際に、当時オーヴァードでもないのに救助に赴こうとし、脱走騒ぎまで起こしている。結局、弟はジャームの手で帰らぬ人となり、脱走の責とUGNへの憤怒からUGNを辞する。だが、罪なき人が傷つき、正義が踏みじられることをそれ以上に憎み、その師もまた事件の中で帰らぬ人となり、一人彼の遺した探偵事務所を守っている。

性格はハードボイルドを気取っているが、どうにも格好のつかないハーフボイルド。本質は日和見主義で臆病者、戦いからもなるべくは遠ざかりたいというのが本音。だが、罪なき人々が傷つき、正義が踏みじられることをそれ以上に憎み、誰かを守るために立ち上がり駆けつけず回ることを厭わぬ人情家。

本人の能力としては、射撃が少しばかり得意なことと、ちょっとばかり雑事が得意なだけで特筆すべき点はない。ただ、事件一回に一度だけ、驚異的な牙えを見せることがあり、その時だけは本物の探偵のようである。また、誰かを守るという行為に通常以上の力を発揮することが可能であり、そして、それら全ては敵の脅威から誰かを守ることにのみ使用される。

二話追加設定
衣:54、よく言えば無難、悪く言えば面白みのない

